宮ノ下公園ワークショップ新聞　第２号

第２回ワークショップの概要

発行：平成 26 年 11 月 18 日(火)

第２回ワークショップでは、具体的な公園計画について３班に分かれて検討しました。当日は、20 名（大人 17 名、子ども３名）の方にご参加いただきました。

この新聞では、第２回ワークショップで検討した成果についてご紹介いたします。

第２回ワークショップ『公園のイメージづくり』
平成 26 年 11 月２日（日）午前 10 時から 12 時
於：柄沢中央町内会館

検討作業の様子

訂正のおわび

第１号の中で、１回目の参加人数を 26 名と報告させていただきましたが、28 名の誤りでした。訂正させていただきます。

ゾーニング、導入機能と配置計画の検討

ワークショップでは、はじめに第１回のおさらいを簡単にした後、今回のテーマである「ゾーニング※、導入機能と配置計画」について３つの班に分かれて検討しました。ここでは、各班の成果について紹介します。なお、内容は、参加者からの意見・要望であり、整備できることを保証したものではありません。

※ 専門用語　ゾーニング：領域に区分すること

バスケットボールゴール

散策路

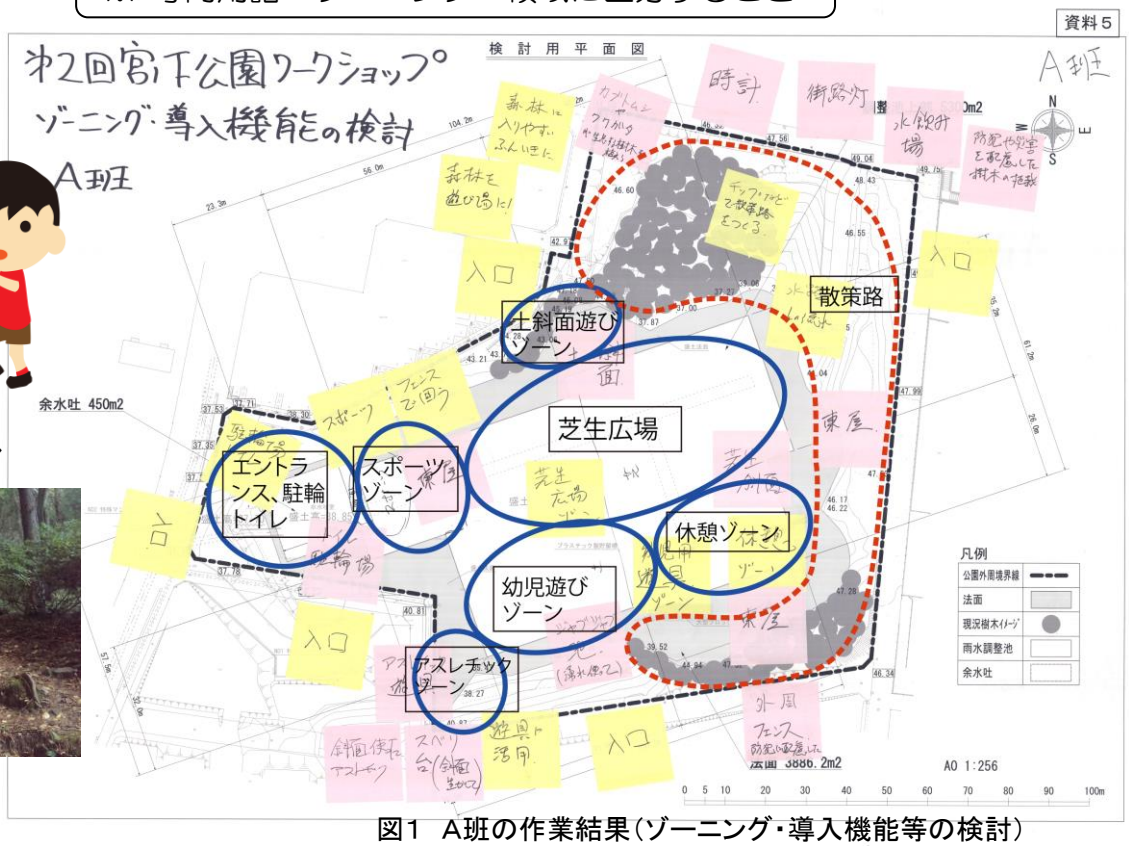


図1　A班の作業結果（ゾーニング・導入機能等の検討）

Ａ班の発表

多岐にわたって意見がでました。入口について、道路に面したところに１つ作り、盛り土を活かしてトイレや駐輪場を設置します。その他４か所ほど、入口を作ります。

ゾーン分けは、①スポーツゾーン、②広場を活かした芝生と土のゾーンに分け、広場の近くに修景や東屋を造ります。

その他として、時計台、街路灯、水飲み場、森林を活かした散策路、防犯に配慮し外周にフェンスを設置します（**前頁図１参照**）。

ランニングコース

斜面を活かした遊具

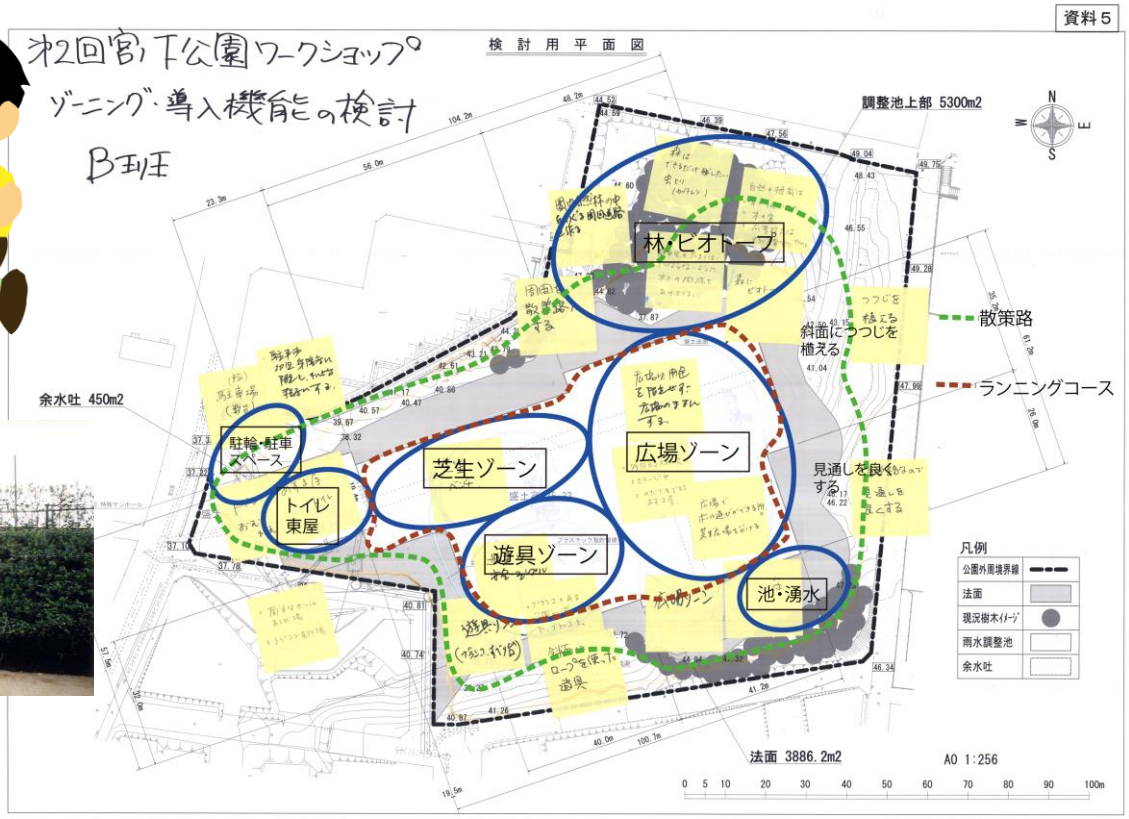


図2　B班の作業結果（ゾーニング・導入機能等の検討）

湧水を活用した池・小川

Ｂ班の発表

全体を一周できるような散策路を森の中に作ります。その際、せっかくの残った自然を大切にし、極力間引いたり、切ったりしないようにします。その際、見通りが悪いところについてどうするかについて議論しました。

以前、別の公園ワークショップに参加したときには、遊具をできるだけ作らないという計画でしたが、整備後に遊具が少なくて残念ということになりました。今回の公園では、ぜひ遊具ゾーンを作りたいです。その上で、遊具ゾーンの隣りには芝生ゾーンを作り、親が子どもたちの遊んでいる姿を見れるようにします。

その他、広場・修景ゾーン、余水吐の上面に東屋、公園の入口の人目につきやすい場所にトイレ、駐車場などを設置します。

公園東側に隣接する道路は、現在、中学生の通学路になっているので、見通しをよくするため、高木は植えず、かわりにツツジなどの低木を植えるといいと考えました。また、湧水を活用して池も作りたいです（**図２参照**）。

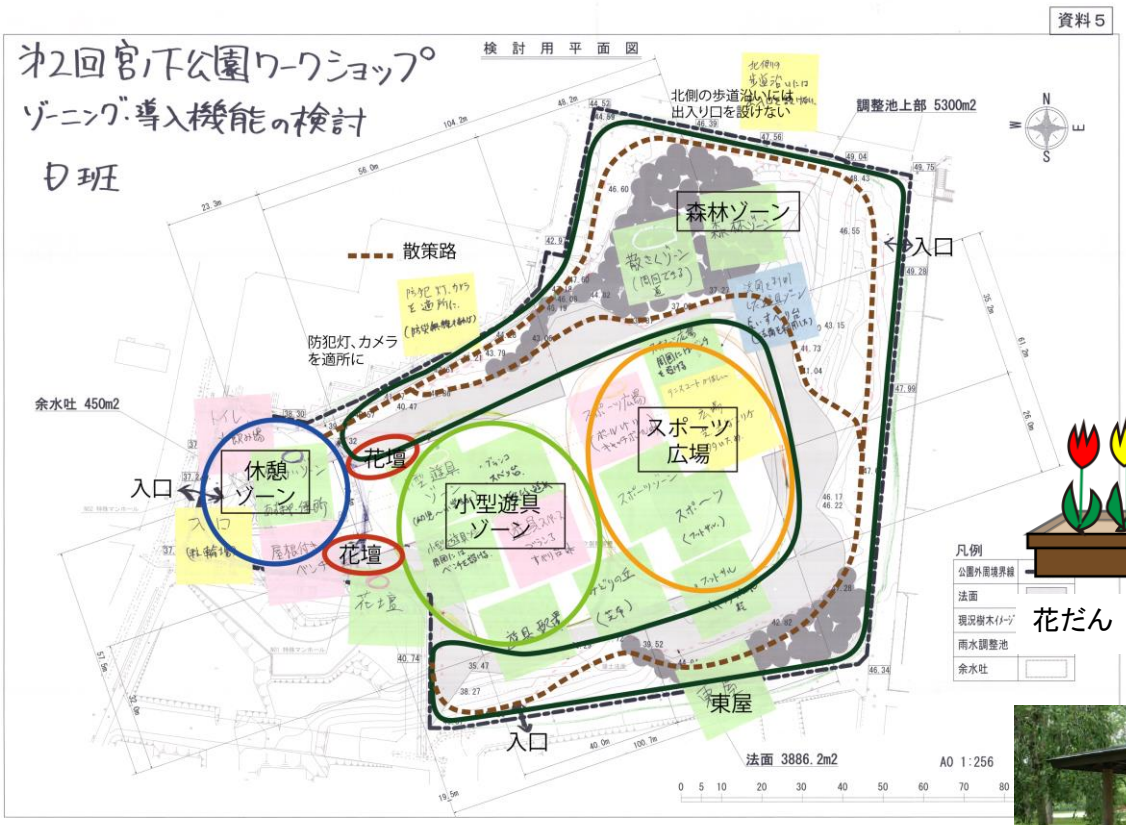


図3　D班の作業結果（ゾーニング・導入機能等の検討）

東屋（あずまや）

Ｄ班の発表

休憩ゾーンには、トイレ、東屋、水飲み場、公園の入口、駐輪場を作ります。

小型遊具ゾーンには、小型の遊具を整備する。奥にスポーツ広場を整備し、ゲートボールやパークゴルフ、子どもたちのフットサルができるようにします。

さらに、公園の外周には、遊歩道を整備し、林の中やわきを歩けるようにします。途中に、イスや東屋を設置します。緑（植栽）については、現在はぼさぼさなので、下草を全て切ります。

その他、斜面を利用した遊具、花壇を作ります。公園北側の歩道専用道路には出入り口は設けず、公園東側の道路に入口を作ります（**図３参照**）。

Ｃ班につきましては、参加人数が少なく、今回は、上記の３つの班で行いました。

各班の作業成果の発表の様子

参加者からのＱ&Ａ

第２回のワークショップの中で、参加者の皆さんから出された主な質問と、その回答を紹介します。

Ｑ１　公園の斜面に降った雨水は、そのまま調整池に入りますか？

Ａ１　そのままは入りません。公園に降った雨は集めて、最後には調整池に流すことになる予定です（市）。

Ｑ２　雨水を湧水と同じ水路に流せませんか。

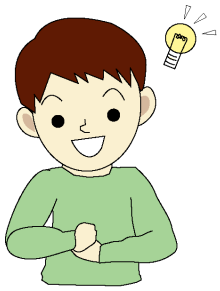
Ａ２　可能だと思います（市）。

Ｑ３　防犯灯や防犯カメラを設置したいです。出来れば防災無線もあるといいと思います。

Ａ３　防犯灯は公園の照明として設置しますが、能力によって数は決まります。また、夜間は照度を落とすことになります。一方、防犯カメラについては、プライバシーのこともありますので、現状では、市内の公園についているところはありません。しかし、全く検討の余地がないということではありません（市）。

Ｑ４　以前は、子どもたちを遊ばせてもらっていました。自由に遊ばせて、子どもたちが自分の思いで遊べる自然をぜひ残してほしいです。そのため、出来るだけ手を入れないように願います。斜面遊びも出来るとよいと思います。

Ａ４　樹林を守るための下草の手入れや間引きなどの管理は樹木のために必要です。そのための手入れはご理解ください（コンサル）。



第３回ワークショップのスケジュール

第３回『イメージをひとつにしよう！』
平成 26 年 12 月 13 日（土）午前 10 時～12 時　於：柄沢中央町内会館

※第３回からの参加も可能です。皆さま、お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。
その場合、資料準備などの都合上、事前にご連絡をお願いいたします。

★第２回宮ノ下公園ワークショップ及び、この新聞の内容について、ご意見・ご要望等ございましたら、郵送・ＦＡＸ・Ｅメールにて下記までご連絡下さい。

連絡先　藤沢市　都市整備部　公園みどり課　宮ノ下公園ワークショップ担当
〒251-8601　藤沢市朝日町１番地の１
TEL：0466-25-1111（内線 4314）　FAX：0466-50-8421
Ｅメール：kouen@city.fujisawa.kanagawa.jp